



2024年3月期第1四半期 決算説明資料

2023年8月10日

ソースネクスト株式会社

1. ハイライト

2. 事業の近況と戦略

3. 今後の見通し

4. 補足資料

総括

- インバウンド・アウトバウンドの復活によりポケットークの販売が好調に推移し、売上高は前期比で増加
- 今後のポケットーク事業拡大のための人件費及び広告宣伝費の増加、当社ECサイトを新システムへ移行することに伴う業務委託費の一時的な増加により経常損失は前期比で拡大

トピックス

2023年5月

- 「Meeting OWL Pro」累計出荷台数30,000台突破

2023年7月

- ポケットーク社とソフトバンク社の包括的業務提携契約締結
- 「AutoMemo」累計アカウント数が90,000を突破
- 当社ECサイトを新システムへ移行

前期比較 (YoY) PL比較

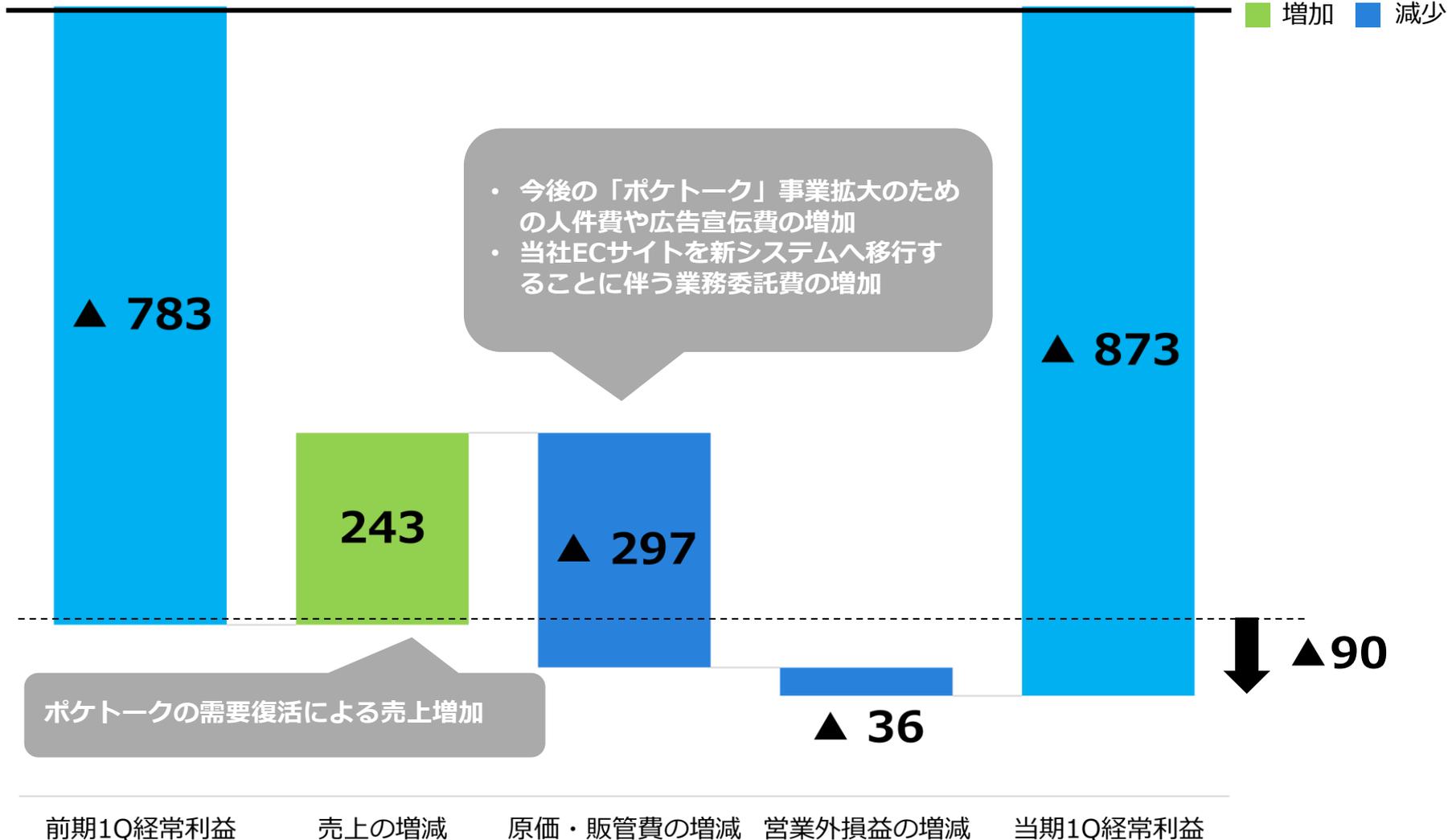
(単位：百万円)

	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	前年同期比	
			増減金額	増減率
売上	2,033	2,277	+243	+12.0% 
営業利益	▲909	▲962	▲53	▲5.9% 
営業利益率	▲44.7%	▲42.3%	-	+2.4pt 
経常利益	▲783	▲873	▲90	▲11.5% 
経常利益率	▲38.5%	▲38.3%	-	+0.2pt 
当期純利益	▲750	▲770	▲20	▲2.8% 
当期純利益率	▲36.9%	▲33.8%	-	+3.1pt 

※ 当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

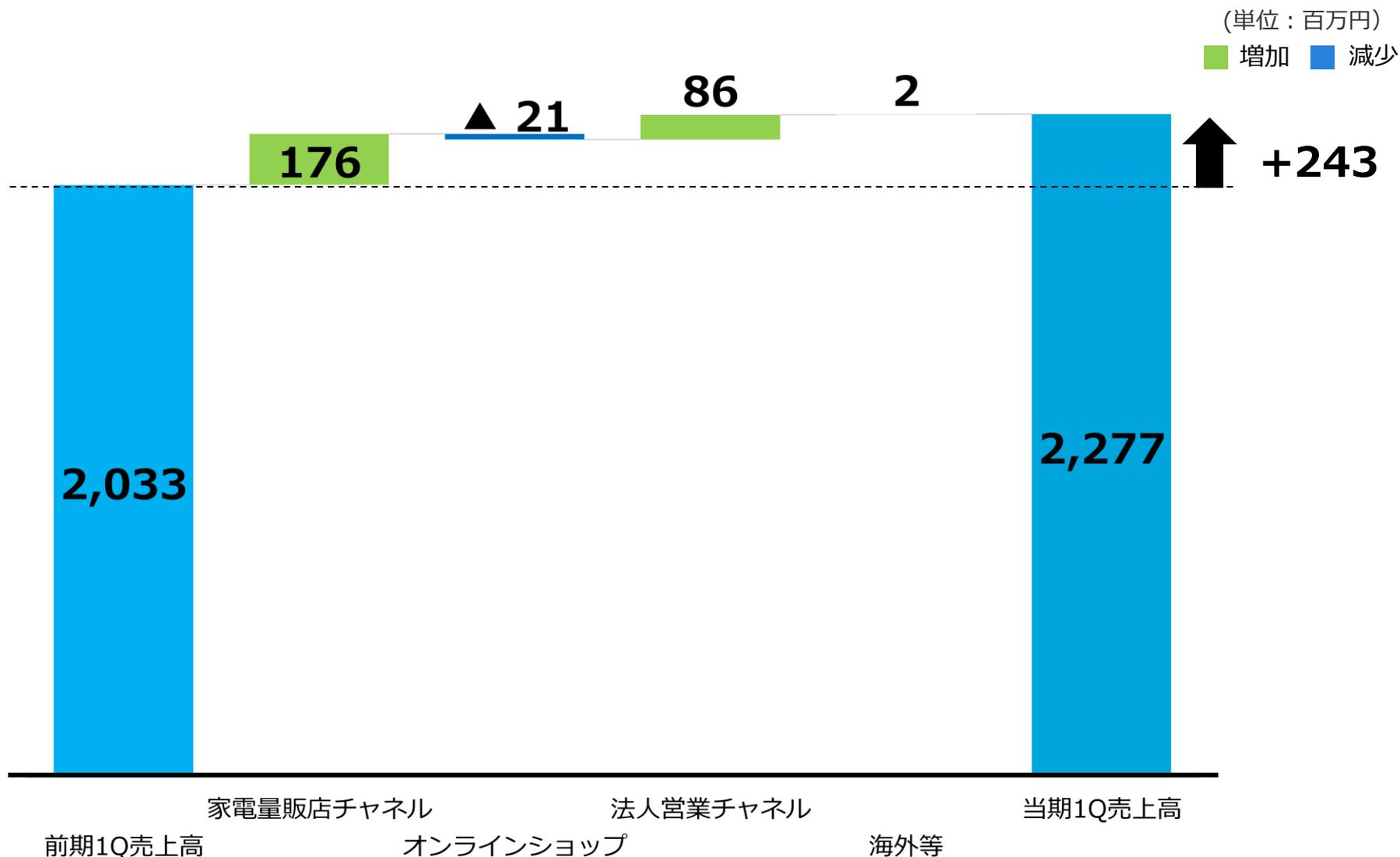
前期比較 (YoY) 経常利益ウォーターフォール

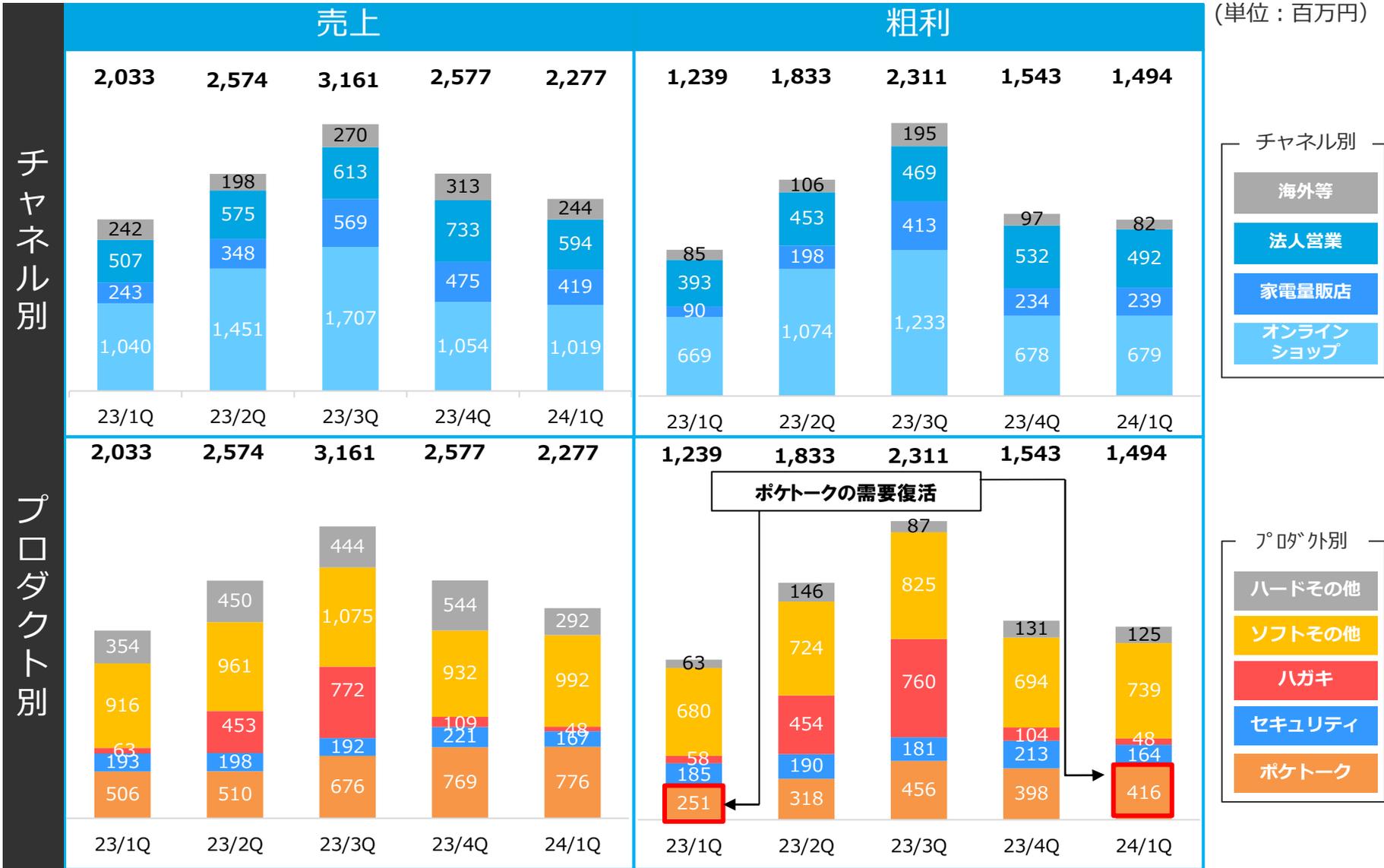
(単位：百万円)

■ 増加 ■ 減少


※ 増加・減少は利益に対しての影響です。

前期比較 (YoY) 売上比較ウォーターフォール (チャネル別)





※ 粗利は各製品・チャネルに直課できない開発費等の共通費を除いており、売上総利益とは一致しません。

連結BS

(単位：百万円)

	2023年3月末	2023年6月末	前期比	
			増減金額	増減率
流動資産	12,506	11,181	▲1,325	▲10.6%
現金及び預金	6,484	5,583	▲901	▲13.9%
商品及び製品	3,345	3,023	▲322	▲9.6%
固定資産	7,132	7,116	▲15	▲0.2%
総資産	19,639	18,298	▲1,341	▲6.8%
流動負債	7,404	7,044	▲359	▲4.9%
固定負債	2,331	2,177	▲154	▲6.6%
純資産	9,903	9,075	▲827	▲8.4%
自己資本比率	46.9%	46.2%	-	▲0.7pt

1. ハイライト

2. 事業の近況と戦略

3. 今後の見通し

4. 補足資料

通期方針

1

**インバウンド・アウトバウンド回復等による
ポケット端末の販売増**

2

新たな機能を開発し魅力的な製品を提供

3

サブスク型サービスによる安定的な収益基盤形成

ミッション

「言葉の壁をなくす」

観光

インバウンド・アウトバウンド

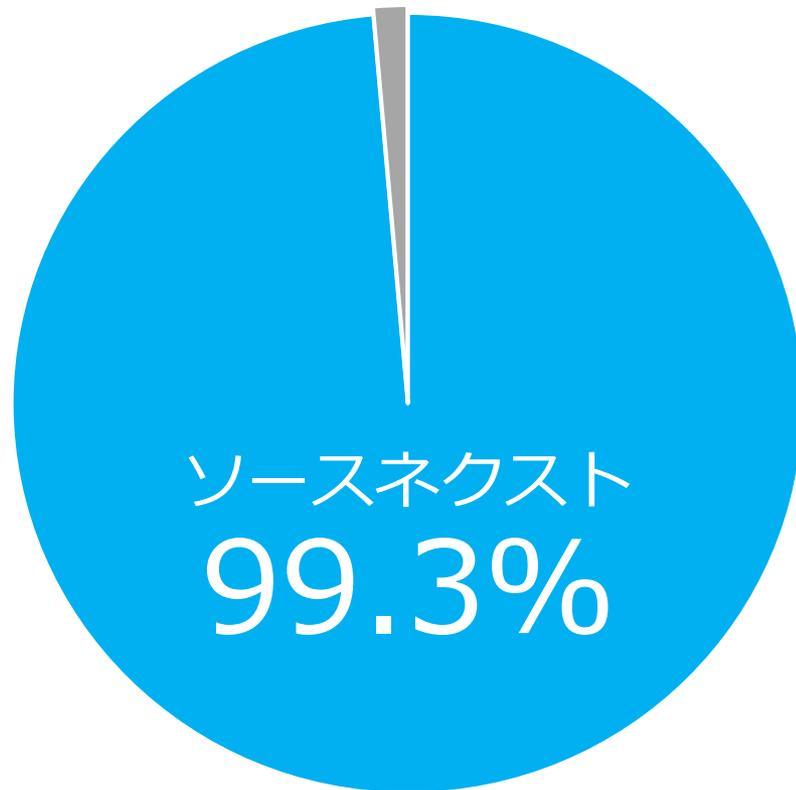
労働現場

企業・病院・学校

グローバル展開

人道支援

2023年6月「翻訳機」販売金額シェア



67ヶ月連続販売金額シェア

第1位

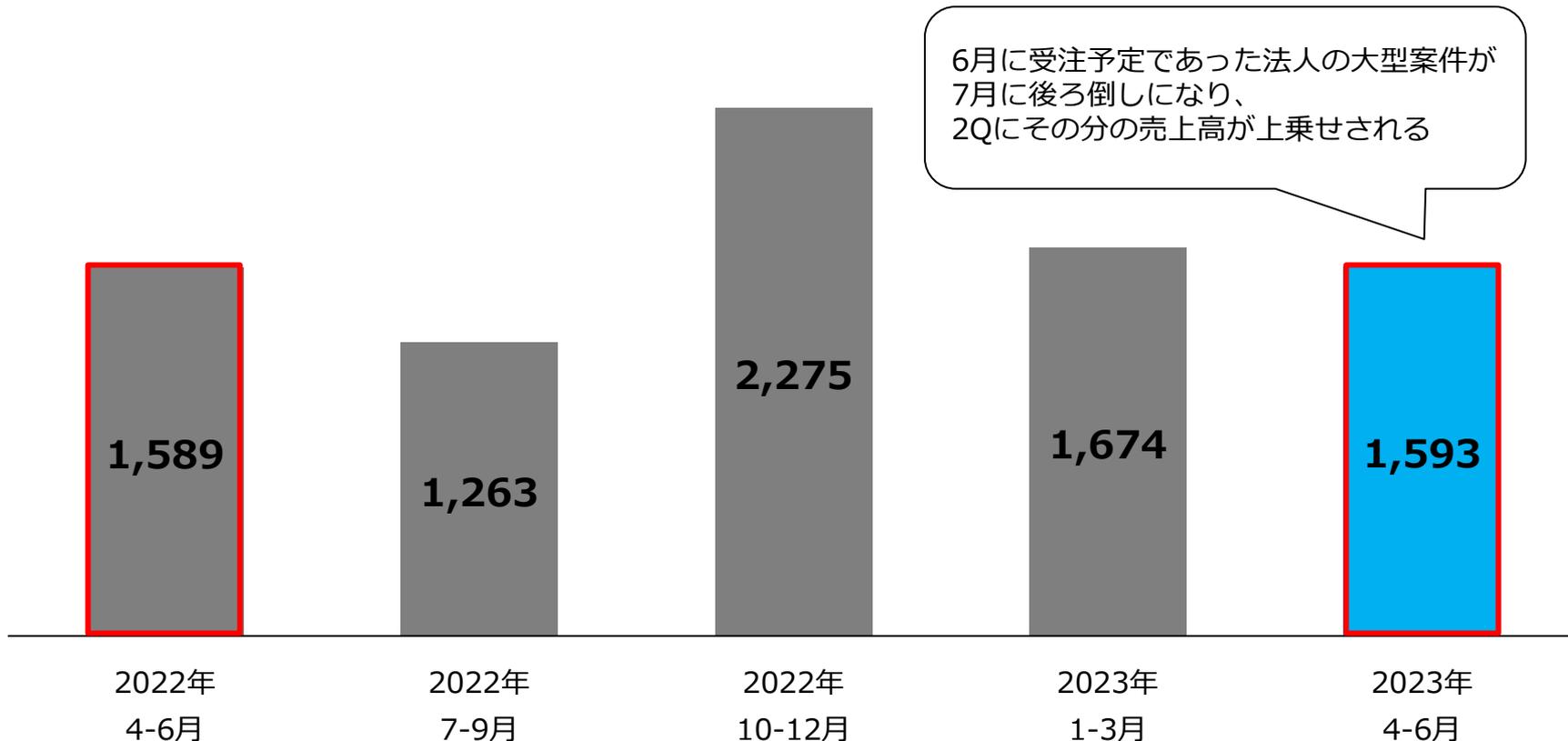
22年12月
100万台突破

出典：「電子手帳・辞書」から「翻訳機」を抽出、
第三者機関による全国の有力家電量販店の販売実績をもとに自社集計

米国でのポケットーク事業 売上高

低価格の旧バージョン順次販売終了による一時的な減少があったが法人によるリピート購入が進み前期と同水準で着地

(単位：千USD)

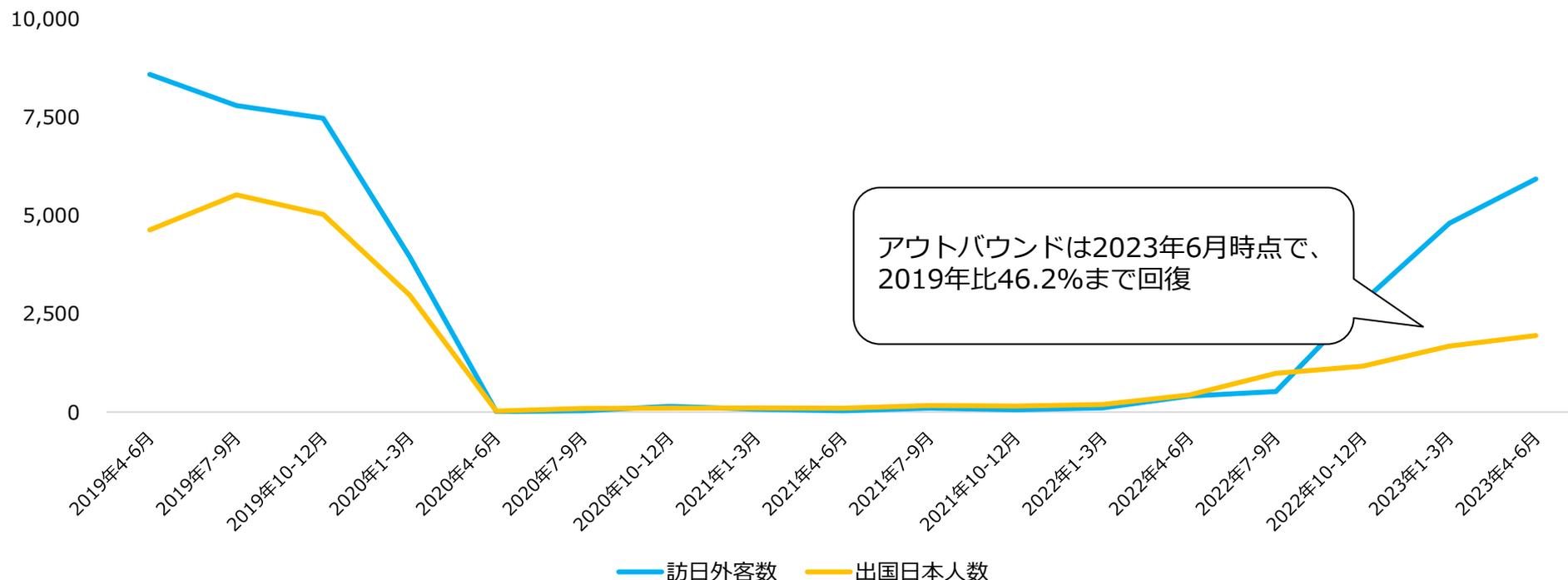


インバウンド・アウトバウンドともに回復傾向

2023年6月はインバウンド・アウトバウンドともに
COVID-19流行の2020年3月以降最多
特にインバウンドは200万人を突破、2019年比72.0%

出入国者数

(単位：千人)



2023年7月25日
ポケットーク社とソフトバンク社の
包括的業務提携契約締結



業務提携の主な内容

① 国内市場の法人向け販売強化

約3,500人のソフトバンク社法人営業部と共同で販売強化
ソフトバンク社の既存法人顧客に向けた、ポケットーク端末の拡販、
同社の取扱う「Zoom」の既存顧客に向けた、同時通訳 の拡販の実施

② 海外市場の拡大

ソフトバンク社の持つ海外拠点と連携した海外展開の強化
同社のパートナー企業との協業及び海外通信キャリアの販路の開拓

③ 快適な通信環境の提供

ソフトバンク社が日本を含む19カ国・地域で独占販売権を有する、
1 NCE(ワンス)社のIoT回線をポケットークに採用し、快適な通信環境を提供

3年間で100万台の販売を目指す

業務提携がもたらす事業の流れ

① ハードウェアからソフトウェアへ

これまでは端末を中心に販売してきたが、ソフトウェア販売に強いソフトバンク社と協業することで、粗利率の高いソフトウェアの販売が伸びることが見込まれる

② 個人から法人へ

家電量販店を中心とする個人向けの端末販売に注力してきたが、Zoomの法人向け販売で日本一を誇るソフトバンク社と協業することで、ソフトウェア等の法人向け販売が伸びることが見込まれる

③ 国内から海外へ

これまで注力してきた国内及び米国での販売に加え、アジアを中心に11カ国に拠点を構えるソフトバンク社と協業することで、海外市場の拡大が見込まれる

通期方針

1

**インバウンド・アウトバウンド回復等による
ポケットーク端末の販売増**

2

新たな機能を開発し魅力的な製品を提供

3

サブスク型サービスによる安定的な収益基盤形成

法人向けのビジネスシリーズ 「ポケットーク for BUSINESS」

ポケットーク for BUSINESS

NEW

同時通訳

NEW

カンファレンス

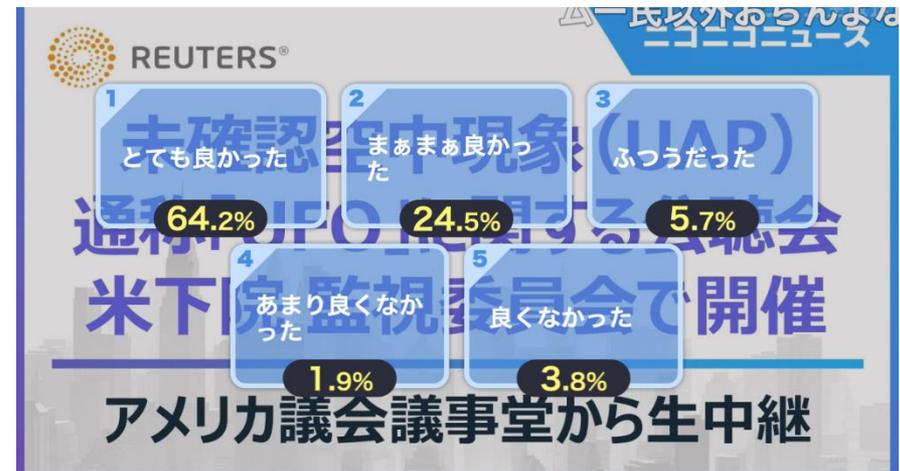
NEW

ムービー翻訳ポケットーク
(端末)コンソール
(管理ツール)

2023年3月「同時通訳」提供開始
「カンファレンス」、「ムービー翻訳」年内提供開始予定

ポケットーク for BUSINESS 「同時通訳」

ニコニコ動画の生中継で「同時通訳」を使った生配信が実施され好評
その他企業での導入も順調に推移



2023年7月26日 ニコニコ生放送（米議会下院で歴史的な「UFO公聴会」生中継【通訳字幕あり】）
<https://live.nicovideo.jp/watch/lv342244720>

ポケットーク for BUSINESS 「カンファレンス」 「ムービー翻訳」

「カンファレンス」が複数のビジネスカンファレンスで使用され好評
「ムービー翻訳」も正式リリース前から複数企業で導入検討



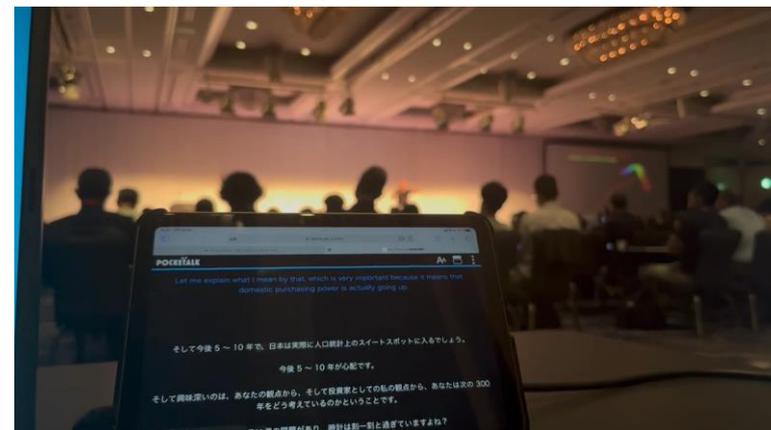
2023年7月12日 PR TIMES より

「カンファレンス」の導入事例

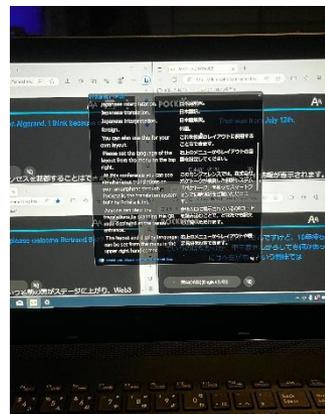
新経済連盟 JX LIVE! 2023



WIT Japan & North Asia



WebX



その他、国連調達セミナーなど複数の
ビジネスカンファレンスで採用

「AutoMemo」シリーズの新サービス

- webアプリ「AutoMemo Home」
2023年8月1日に「AutoMemo」シリーズの新サービス、
webアプリ「AutoMemo Home」をリリース

顧客満足度の向上に伴う有料会員数の増加により、
安定的な収益基盤のさらなる拡大が見込まれる



- 「AutoMemo Home」の主な機能

①話者分離

②文字起こし結果の編集

③共有URLの発行

④自動でデータ連携



録音から共有まで議事録作成が「AutoMemo」で完結

今後も議事録作成がさらに便利になる新機能を随時追加予定

ヘルステック市場への進出

- 家族の健康を見守る非接触デバイス「POM(ポム)」
2023年8月2日に、米国のTellus You Care, Inc.が開発した「POM」を国内で販売し、ヘルステック市場への進出を発表
2029年3月期末までに販売台数100万台突破を目指す
- 主な機能
自動運転にも活用されるミリ波レーダーを応用し、
寝室の壁に取り付けるだけで睡眠習慣や心拍数等を測定
サブスク型の専用アプリで離れていても毎日の生活の様子が確認可能に



POMが分析するデータ



本体デバイス



専用アプリ



ベッドの上にいる時間



活動時間



睡眠時間



心拍数



呼吸数

360度webカメラシリーズ

■ 「Meeting OWL Pro」 累計出荷台数30,000台突破

当第1四半期も法人市場を中心に引き続き販売が好調に推移し、
2023年5月に累計出荷台数が30,000台を突破

2020年7月の発売以降、国内の多くの企業で導入が進む
今後も「KAIGIO CAM360」とともに「360度webカメラシリーズ」として、
法人市場を中心に販売の伸長を目指す



Meeting Owl Pro



KAIGIO CAM360

360度webカメラシリーズ

Meeting OWL Pro導入企業(一例)



通期方針

1

インバウンド・アウトバウンド回復等による
ポケットーク端末の販売増

2

新たな機能を開発し魅力的な製品を提供

3

サブスク型サービスによる安定的な収益基盤形成

文字起こしAI「AutoMemo」

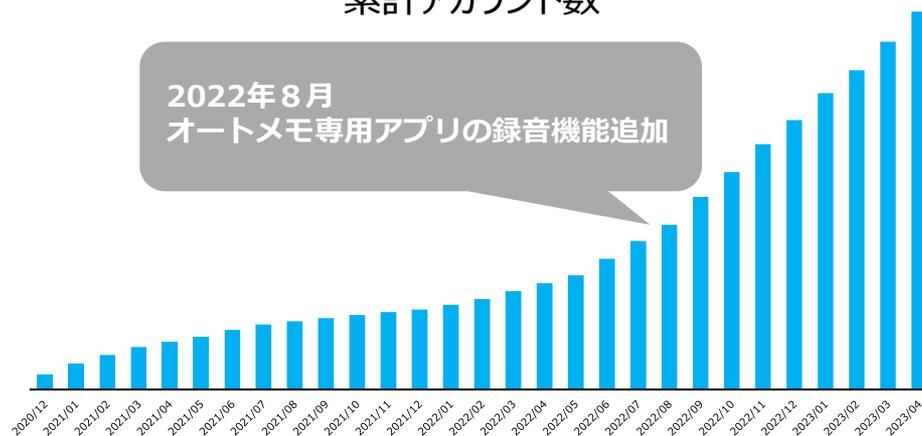
■「AutoMemo」サブスク型テキスト化サービスの拡大

2023年3月よりOpenAI社の音声認識エンジン「Whisper」を採用して以降、ユーザー数の増加が更に加速
累計アカウント数は2023年7月時点で90,000を突破

サブスク型テキスト化サービスの加入数も順調に推移し、
2023年6月の月間新規加入数は発売以降最多となった（無料キャンペーン期間を除く）
「AutoMemo Home」のリリースに伴うサービスの向上により、
新規加入数増加の加速が見込まれる



累計アカウント数



スマート留守電

■ 読める、新しい留守番電話サービス「スマート留守電」

新規ユーザー獲得が順調に推移し、2023年5月には累計ユーザー数が25万人を突破
売上高も順調に伸長し、サブスク型サービスとして安定した収益基盤の形成に貢献

■ 「スマート留守電」の販路

従来のアプリストアでの販売に加え、家電量販店の携帯キャリアのカウンターや、
500店舗を超える全国携帯ショップにて副商材として販売
店頭での新規ユーザー獲得が順調に推移し、ユーザー数の増加に寄与



500店舗を超える全国携帯ショップで販売

当社ECサイトの新システム

■新システムへの移行

2023年7月に当社ECサイトを新システムへ移行

従来のシステムはフルスクラッチ開発だったがパッケージ開発に変更

■新システム移行によるメリット

①セキュリティの強化

決済システムの再構築による安全性の向上、不正アクセス検知と脆弱性スキャンの導入

②柔軟性の向上

サイト改修に係る時間が短くなることで、世の中の変化に素早く対応可能に

③コスト削減

保守費用や今後のサイト改修に係る費用の低減



安全性の確保と中長期的なコスト削減を目指す

1. ハイライト

2. 事業の近況と戦略

3. 今後の見通し

4. 補足資料

2024年3月期の通期連結業績予想に変更はありません。

(単位：百万円)

	2024年3月期 通期		2023年3月期 通期	増減
	連結	SN単体	連結	連結
売上	16,649	14,139	10,347	+6,302
営業利益	110	580	▲2,574	+2,684
経常利益	106	464	▲2,537	+2,643
当期純利益	63	334	▲2,303	+2,366
EPS(円)	0.47		▲17.00	+17.47
年間配当金(円)	-		-	-

- ※ 当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益（ソースネクスト社については「当期純利益」）
- ※ EPS：1株あたり当期純利益
- ※ ソースネクスト社の数字は連結会社間の内部取引等を消去した後の金額です。
- ※ 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。

次の常識をつくる

We Source What's Next.

1. ハイライト

2. 事業の近況

3. 業績予想

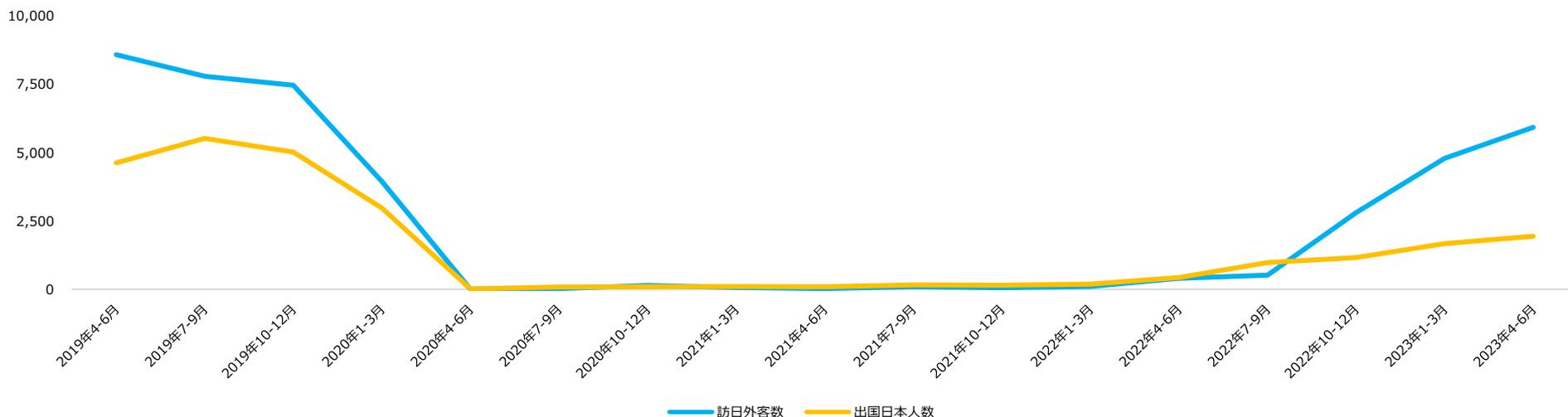
4. 補足資料

出入国者数

(単位：人)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
訪日外客数	2,295,668	2,035,771	2,205,664	2,578,970	2,294,717	2,346,442	2,681,518	2,477,428	2,280,406	2,595,148	2,378,079	2,521,262
2018年	2,501,409	2,509,297	2,607,956	2,900,718	2,675,052	2,704,631	2,832,040	2,578,021	2,159,595	2,640,610	2,450,751	2,631,776
2019年	2,689,339	2,604,322	2,760,136	2,926,685	2,773,091	2,880,041	2,991,189	2,520,134	2,272,883	2,496,568	2,441,274	2,526,387
2020年	2,661,022	1,085,147	193,658	2,917	1,663	2,565	3,782	8,658	13,684	27,386	56,673	58,673
2021年	46,522	7,355	12,276	10,853	10,035	9,251	51,055	25,916	17,720	22,113	20,682	12,084
2022年	17,766	16,719	66,121	139,548	147,046	120,430	144,578	169,902	206,641	498,646	934,599	1,370,000
2023年	1,497,472	1,475,455	1,817,616	1,949,236	1,898,900	2,073,300	0	0	0	0	0	0

(単位：人)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
出国日本人数	1,295,059	1,493,399	1,745,412	1,234,921	1,317,742	1,336,169	1,480,718	1,888,071	1,622,694	1,459,083	1,546,985	1,469,039
2018年	1,423,727	1,390,518	1,807,063	1,356,679	1,383,847	1,421,649	1,557,980	2,033,435	1,630,088	1,646,230	1,673,473	1,629,345
2019年	1,452,157	1,534,792	1,929,915	1,666,546	1,437,929	1,520,993	1,659,166	2,109,568	1,751,477	1,663,474	1,642,333	1,712,319
2020年	1,380,762	1,316,820	272,697	3,915	5,539	10,663	20,295	37,137	31,606	31,049	30,703	33,033
2021年	48,691	24,807	28,896	35,905	30,121	30,666	43,184	66,051	52,366	50,841	51,774	48,942
2022年	74,982	46,932	70,678	129,168	134,013	171,529	277,945	386,412	319,165	349,557	379,196	432,057
2023年	443,105	537,705	694,292	560,183	675,661	703,300	0	0	0	0	0	0

(単位：千人)



出典：日本政府観光局調べをもとに当社作成



本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。
また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告なしに変更することがあります。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いませんので、ご了承ください。